

2.金剛地区再生指針の取組予定(令和5年度) ②各部会・プロジェクトの取組等について

わっくCaféについて

わっくCaféの開設まで

これまで、金剛地区のまちづくりに関する議論において、
「**地区における居場所がない**」という意見が多く挙げられてきた。



「金剛地区まちづくり会議」において、居場所づくりをテーマに活動する
「**拠点づくりプロジェクト**」が立ち上がり、**常設の拠点づくりに向けた取組**
を推進(2019年6月～)。

→会議の開催(場所・仕組み等を検討)、事例の勉強・視察など



法人名義での物件賃貸契約や補助金等の活用ができるよう、
「拠点づくりプロジェクト」有志8人により「**一般社団法人わっく金剛**」
を立ち上げ(2020年2月)。



UR都市機構所有の空施設(金剛銀座街商店街)を借用し
金剛地区の新たな拠点「**わっくCafé**」を開設(2021年2月27日)

「金剛地区における新たな魅力づくりに関する連携協定」を市と締結(2020年10月)

→市は、施設借用に向けて、施設所有者である「UR都市機構」との交渉等をサポート。

わっく Café開設



70食完売御礼！



わっくCaféの仕組み

コンセプト:いつでも誰でも集える常設の拠点

- ・多世代、また金剛地区内外の誰もが、集い、活動できる。
- ・新たな発展や可能性が広がる参加型の自由な空間。

日替わりオーナーカフェ等の仕組みを採用

- ・オーナー希望者は説明会に参加し、趣旨に賛同した人がオーナーに登録。
- ・登録料は、利用頻度に関わらず一律3千円。
- ・登録後は、①日替わりカフェオーナー、②ボックスショップオーナーになることができる。

区分	利用期間	利用料	備考
①日替わり カフェオーナー	一枠(8~14時 or15~21時)	3千円	・共通のドリンクメニュー以外は、店主のアイデアと工夫によって自由に展開可。 ・その他、作品の展示や販売等にも利用できる。 ※共通のドリンクメニューの売上金の一部を、わっく金剛に支払い。
②ボックス ショップオーナー	1ボックス(一ヶ月)	1千円	・店主のショップとして、ハンドメイド作品等の販売ができ、自由なディスプレイや入れ替えも可能。

オーナーは、いつでも予約して利用可。

予約がない日のうち「火~土曜日の10~14時」はコミュニティカフェとして、わっくメンバーが運営。

※登録料、利用料、売上金を、
家賃、水光熱費、材料費等のランニングコストに充当。 →継続的な運営をめざす。

わっくCaféの目指す姿

みんなの居場所

特定な人たちだけが占有する居場所ではなく、知り合いがいなくても、老若男女、誰でもふらっと立ち寄れる場所

みんなのステージ

カフェや小商い、教室などやってみたいこと、見てもらいたい、知ってもらいたい、呼びかけたいことなどにチャレンジするプレイヤーになれる場所

いつまでも未完成
変化し続ける
オシャレなスペース

みんなと集うスペース

食などを通じて、知らないみんなとも集い、つながりを広げる場所

わっくCaféの活動状況は・・・？



3月金中生のわっくcaféでの挑戦 アフリカの子どもたちに給食を！
自作のかわいいアイテム販売



■活動の状況

- ・登録オーナー115名。 ※2023年5月末現在
(市内在住 62名。うち、金剛地区在住32人。)
- ・ボックスショップ32ボックス稼働中。
- ・月2回、運営メンバーによる子ども食堂「カレー食堂」開催。
- ・月1回の施設メンテナンス日を設け、清掃・点検等を行っている。

利用者について

- ・オーナーの知り合いから
 - 近隣の方やふらっと立ち寄る方（近隣の方の立ち寄りの場へ）
 - 野菜販売やBOXショップを覗く（おしゃべりの場へ）
- ・子どもたちも
 - こども食堂であるカレー食堂の利用者増加



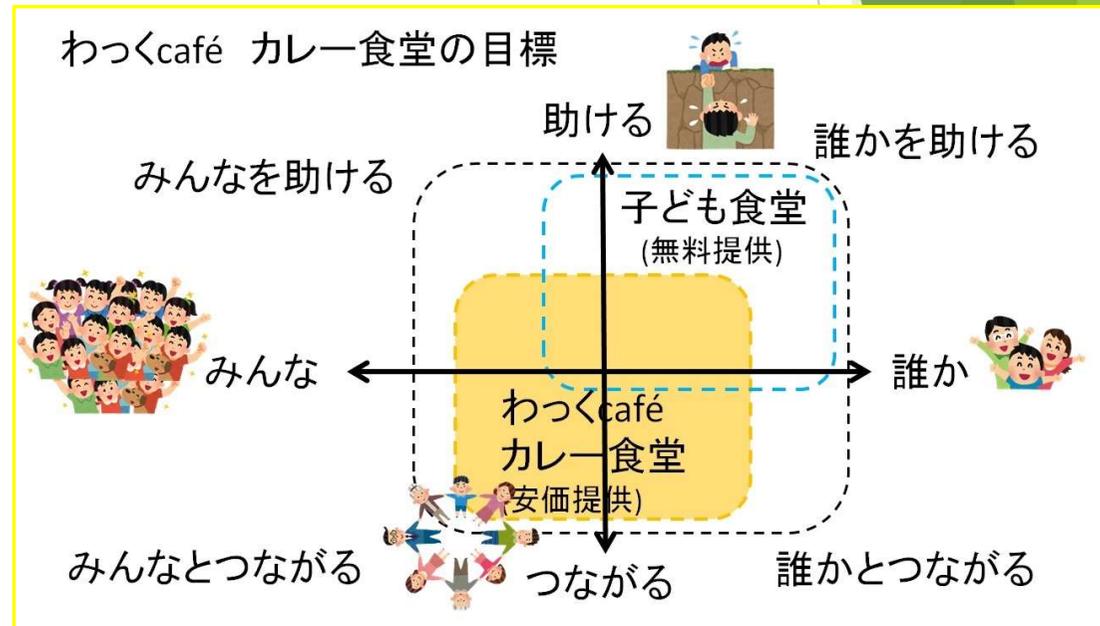
老若男女
0才から90才



カレー食堂（こども食堂）

金剛地区で第1号となる
「子ども食堂」として開催!

食事を通して、子どもや地域の方の集いの場となることを目的として、
月2回、わっく金剛運営メンバーによるこども食堂「カレー食堂」を開催。

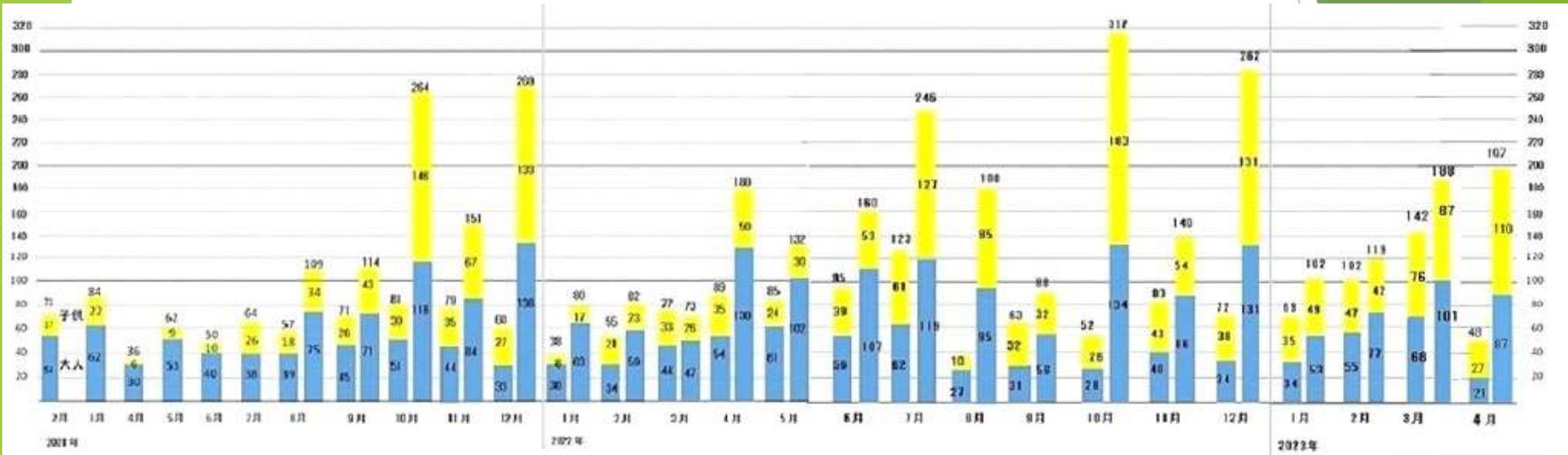


※毎月第4土曜日は、マルシェと併せて賑わいを創出

わっくCafé運営メンバーの他、
ボランティアスタッフも常時5名～10名参加。

カレー食堂（こども食堂）

カレー食堂 2021年2月スタート第四土曜日昼、2021年8月から第二水曜夕方も開催



第四土曜日昼



第二水曜夕方

カレー食堂（こども食堂）

2月8日カレー食堂



1月28日カレー食堂 金剛マルシェ

